

文教大学情報学部 社会調査Ⅲ 研究報告

自己意識タイプと生活・メディア利用

文教大学 情報学部 広報学科 3年

B1P11079 高久沙織

目次

| | |
|------------------|----|
| 第1章 調査研究の概要 | |
| 1. 1 調査研究の目的と背景 | 2 |
| 1. 2 調査に関する状況 | 2 |
| 1. 3 調査研究の方法 | 5 |
| 1. 4 成果の概要 | 6 |
| 第2章 調査研究の成果 | |
| 2. 1 調査回答者の概要 | 7 |
| 2. 2 公的自意識と私的自意識 | 8 |
| 2. 3 メディアと自意識 | 10 |
| 2. 4 生活と自意識 | 11 |
| 第3章 まとめと今後の課題 | |
| 3. 1 研究のまとめ | 17 |
| 3. 2 反省と今後の課題 | 18 |
| 参考文献リスト | 19 |
| 資料 単純集計結果 | 20 |

第1章 調査研究の概要

1.1 調査の目的と背景

私たちは普段様々なものに興味関心を持ち、気づかぬうちに色々なところから影響を受けている。それらは人によって異なり、無意識のうちに起きているものだと考えている。しかし、そうした興味関心や影響の度合いには、何か傾向があるのではないかと考えた。

私たちの意識の中には、自意識というものが存在する。これは自分自身に向けられる意識である。自意識には大きく分けて公的自意識と私的自意識の二つがあり、このどちらかが高かったり低かったりすることにより、その人の日々の行動や考えに差が生じるという。それならば、最初に述べた興味関心や影響の度合いは、この自意識の高低によって決まっているのではないのだろうか。そして、この自意識は人々の生活にどのような差を生じさせているのだろうか。

また、メディア利用においても自意識による差が生じるのではないかと考えた。メディア利用をする際には確かに、その対象に意識が向けられており、自分自身に意識が向いているとは言えないだろう。しかしながら、メディアの選択や、人々のメディアとの向き合い方等には、少なからず何かしらの意識が自然と働いているのではないかと考えた。

そこで、今回の調査では公的・私的自意識の高さをもとに、自意識の違いによって生じる思考の差や生活への影響や、メディア利用時の違い等を調査する。

1.2 調査に関連する状況

(1) 自意識

普段、人の意識は様々なものに向けられている。例えばテレビを見ているときは画面に注意が向いている。しかし、ビデオカメラを向けられたとき、電車の窓に映る自分の顔に気づいたときなどは、「自分は人からどうみられているのか」「自分は普段こんな表情をしているのか」など、意識が自分に向けられる。このように自己に注意が向けられた状態を、「客体的自己意識」や「自覚状態」と呼ぶ。

こうした自分に注意を向け自分を意識しやすい傾向には個人差があり、研究により自己に向けられる意識には公的自意識と私的自意識の二つがあることが明らかになっている。公的自意識とは仕草やふるまいなど他者からみえる部分に向けられた意識のことであり、私的自意識とは、「自分は今イライラしている」というように、自分の感情や内面など他者から見えない部分に向けられた意識のことを言う。自分の考えや好み、欲求、希望なども私的自意識と言える。普段私たちは、自分は私的自意識が高い人間だ、自分は公的自意識の高い人間だというように考えることはほとんど無いだろう。しかし、街で人とすれ違う時や、職場や学校などで誰かと話をする時など様々な場面でこうした自意識が働いていることは間違いない。人が社会でコミュニケーションを取ったり、自分が成長していったりするためにも、自意識というものは必要不可欠なものであると感じる。

メディア利用においても、こうした自意識とは強い繋がりがあるのではないだろうか。例えば、テレビや雑誌の中の芸能人などを見て、「自分もこんな風になりたい」「自分も他者からこの人の様に思われたい」「自分はこの人とは違う考えで、こう思う」等と考えることや何かしらの影響を受けることがあるだろう。また、twitter や Facebook、ブログ等といったものは、今の自分の気持ちを呟いたり、その日に起きた出来事を記していったりするものである。この時は自分自身と向き合っている時間だと言えるだろう。そうした時間の中では、「自分はこんな風に思っていたのだ」「あの時、自分がこうしていれば良かった」等、自分自身の気持ちに気づいたり自分を反省してみたりするはずである。これらのことを考えると、メディア利用と自意識は関係があると感じる。

(2) 公的自意識と私的自意識による違い

自意識の中には公的自意識と私的自意識の2つがあると記したが、これまでの研究で、私的自意識・公的自意識の高い人にみられる特徴が明らかになっている。例えば、公的自意識の高い人は他者からの評価的態度に敏感であること、私的自意識の高い人は態度と行動の一貫性が高いことなどである。

菅原(1986)によると、公的自意識の強い人たちには二つの共通する特徴があると言う。一つは、「他者から拒否されたくない」「他者から賞賛されたい」などといった他者から認められたいという承認欲求が強いこと、もう一つは、他者の行動の原因を自分自身に帰属させてしまいやすい傾向にあることが挙げられている。

また、「公的自意識が高く私的自意識の低い人」と「私的自意識が高く公的自意識の低い人」とでは自己イメージが大きく異なるという。「公的自意識が高く私的自意識の低い人」は、「意思の弱い」「流されて生きている」など状況に応じて自己をコントロールするタイプとして自分を認知している。一方で「私的自意識が高く公的自意識の低い人」は、「我が道を行く」「自分に厳しい」など自分の信念や価値観を明確にもち、それにしたがって生きようとするタイプと自分を認知している。

他にも、他者からの自分に目が向いた公的自意識状態になると、マイナス思考になりがちであり、その状態が続くとたいいてい人はあまりいい気分ではいられなくなるという。特に日本人は、周りからどう見られるのか気になる公的自意識タイプの人が多いといわれている。

これら公的自意識と私的自意識の研究では、人々の化粧やファッション行動と関連させた研究が多い。ミラーとコックス(Miller&Cox,1982)の研究によれば、公的自意識の高い女性は公的自意識の低い女性に比べてメイクアップをよくしていること、そしてメイクアップによって自分の容姿の魅力が上昇するとみなしていることが示されている。他にも、「化粧行動を規定する化粧意識・態度の研究」では、化粧をして自分の顔の欠点を隠したい、周りの人からきれいだと見られたいと感じる人は、公的自意識との関係が強いことが示唆され、「公的自意識の強い人は「化粧、美容への関心」が高くなるだろ」という

仮説が支持されている。

以上のように、公的自意識が高いか私的自意識が高いかということで、その人の性格や特徴、行動に影響が出るのである。

(3) メディアの利用状況

今回の調査では、メディア利用にも焦点を当てる。

NTT レゾナント株式会社は平成 23 年 8 月 1 日、メディア利用におけるトレンドや変化の兆しを把握・分析する「メディア利用状況」に関する第 3 回目の調査結果を発表。この調査は「goo リサーチ」の登録モニターの中から 13 歳以上の 1499 名を対象に実施されたものである。

この調査によれば、毎日利用しているメディアとして多かった回答は「テレビ (88.0%)」が最も多く、次いで「PC からインターネット(83.3%)」、「新聞 (54.5%)」となった。しかしながら、過去に行われた同調査と比較すると、「テレビ」が 3.1 ポイント減、「PC からインターネット」が 5.6 ポイント減、と減少傾向にある。そんな中で、利用を増やしているのが「スマートフォンからインターネット」だ。これはやはり twitter や Facebook などの SNS 利用者の増加や、いつでもどこでも手軽にインターネットが出来るというスマートフォンの利便性が関係していると思われる。

NTT レゾナント株式会社による「メディア利用状況」に関する第 2 回の調査結果と比較すると、携帯電話やスマートフォンからのインターネット利用は増加し、特に「10 代～30 代」の利用時間が長い。数年前まではスマートフォンよりもガラパゴスケータイの所持者の方が多かったが、近年スマートフォンの普及が急増し、中でも子供の頃から機械のある生活に慣れ、流行に敏感である「10 代～30 代」におけるスマートフォンの利用は高いと言える。それに伴い、SNS の登録者数も増加し、以前よりも更にインターネットの利用度が増えたのだと考える。

調査においても、10 代～30 代の男女でソーシャルメディアの閲覧率・情報発信率が高いという。また、ここで気になるのは男女間でも差があるということだ。男性 10 代～30 代は、「ミニブログ」「Q&A」サイトの閲覧率・情報発信率が女性よりも高く、女性 10 代～30 代は、「個人ブログ」「コミュニティサイト」の閲覧率・情報発信率が男性よりも高い傾向がある。男性は不特定多数のユーザーが発信する情報や、不特定多数への情報発信が想定されるメディアの利用が多い傾向にある。それに対し女性は、特定のユーザー発の情報や、特定の人同士で情報共有できるメディアの利用が多い。普段から男女間では考えや意識に様々な違いが生じている。このように男女間においてソーシャルメディアの利用に差が出るとするならば、他のメディア利用においても差は生じているはずである。そう考えるとすれば、男女間だけでなく人々の自意識の違いにおいてもメディア利用時に何か差が出るのではないだろうか。

1. 3 調査研究の方法

(1) 進捗経緯

- 5～7月 : 調査テーマ討論・決定
- 8～10月 : 最終討論・調査票作成
- 10月 : 調査票完成・調査実施
- 11月 : 単純集計結果報告
- 12～1月 : 報告書作成

(2) 調査の概要

a. 調査の意図・仮説

- ・公的自意識が高い人は、テレビの視聴時間が長く、流行に敏感である
- ・公的自意識が高い人は、雑誌の購入頻度が高い
- ・公的自意識が高い人は、周囲を気にすることが多く、他者よりも強く自分にコンプレックスを抱いている
- ・公的自意識が高い人は、周囲に流されやすく、芸能人からの影響を受けやすい
- ・公的自意識が高い人は、周囲からの視線が気になり、ストレスを感じやすい
- ・私的自意識が高い人は、ニュースやドラマ視聴の際に自分のことのように考える
- ・私的自意識が高い人は、周囲からの影響を受けにくい
- ・私的自意識が高い人は、自分を見つめることが多いため、一人の時間を重要視する

b. 調査対象者と方法

調査対象 : 文教大学生

調査方法 : 紙面によるアンケートを授業内に実施

c. 主な調査項目

- ・普段よく利用するメディア
- ・メディアごとの利用頻度や時間、目的
- ・自意識尺度
- ・芸能人について
- ・流行、お洒落への興味関心
- ・コンプレックス、ストレスの有無
- ・一人の時間の重要度

d. 依頼数と回答数

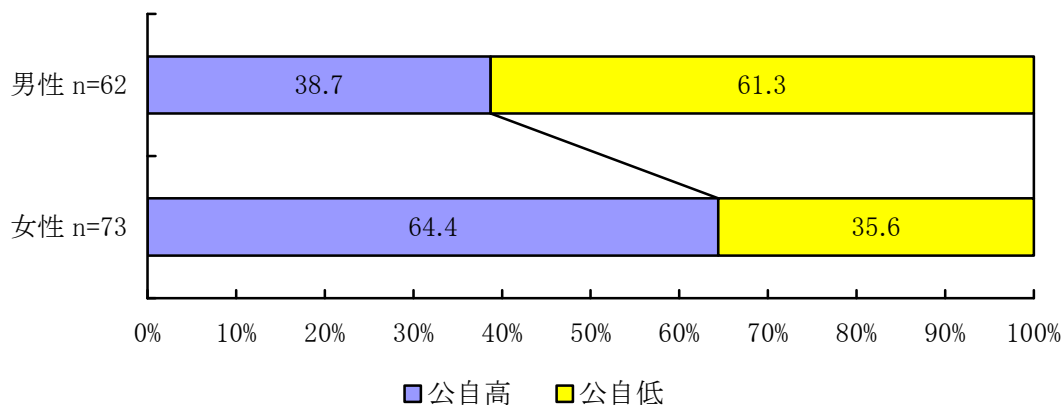
依頼数 : 150

有効回答数 : 138

1. 4 成果の概要

(1) 主な成果

図1-4-1 公的自意識の男女差(χ^2 乗:**)



公的自意識と私的自意識の高さについては、男女で差が出る結果となった。公的・私的自意識のどちらにおいても、男性よりも女性の方が自意識が高く、特に公的自意識での男女の差は顕著であった。これより、女性の方が他者から自分がどう見えているのかを気にする傾向が強いと言える。

表 1-4-2 一般人からの影響度の比較

| | |
|------------------|-----------------------|
| 服装に関する一般人からの影響度 | 公的自意識 高 > 公的自意識 低 * |
| | 私的自意識に差は無し |
| 考え方に関する一般人からの影響度 | 公的自意識 高 > 公的自意識 低 *** |
| | 私的自意識 高 > 私的自意識 低 ** |
| 持ち物に関する一般人からの影響度 | 公的自意識 高 > 公的自意識 低 * |
| | 私的自意識に差は無し |

公的自意識が高い人は、服装・考え方・持ち物のどれにおいても一般人から影響を受けやすいことが分かった。公的自意識が高い人の方が周囲からの視線が気になるために、様々な影響を受けやすいのではないかと考える。またその際に、芸能人よりも一般人の方が接触する機会が多く、身近な存在であることから、自分に取り入れやすいのではないかと考える。私的自意識が高い人は、考え方に関して他者から影響を受けやすいことが分かった。

(2) その他の成果

・公的、私的自意識どちらにおいても、意識が高い人の方がニュース視聴時に自分のことのように考える人が多い

- ・私的自意識が高い人は、ドラマ視聴時に自分のことのように考える人が多い
- ・公的自意識が高い人は、お洒落に対して興味関心が強い
- ・公的自意識が高い人は、コンプレックスを多く抱いている
- ・公的自意識が高い人は、ストレスをより多く感じている
- ・公的自意識が高い人は、自分は孤独であると感じることが多い
- ・私的自意識が高い人は、自分の時間を重要視する傾向がある

第2章 調査研究の成果

2. 1 調査回答者の概要

調査対象者は、文教大学湘南校舎の学生 138 名で、「社会学概論Ⅱ」のクラスで、紙面によるアンケート調査を実施した。なお回答標本は無作為抽出で作成してはいたないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表 2-1-1 と表 2-1-2 で確認しておく。

表 2-1-1 の学年別の分布では、1 年生が主である。また表 2-1-2 の性別の分布では、やや女性の回答者が多い。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である、しかし、クロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

表 2-1-1 回答者と母集団の比較

| | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 計 |
|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|
| 回答者 | 89.1 (123) | 9.4 (13) | 1 (0.7) | 1 (0.7) | 100.0 (138) |
| 情報学部 学生 | 25.1 (490) | 25.1 (492) | 22.0 (430) | 27.8 (554) | 100.0 (1956) |

(注)母集団は情報学部 2013. 10 末時点である。

表 2-1-2 回答者と母集団の比較

| | 男性 | 女性 | 計 |
|------------|----------------|---------------|-----------------|
| 回答者 | 46.4 (63) | 53.6 (74) | 100.0 (138) |
| 情報学部 学生 | 66.0 (1291) | 34.0 (665) | 100.0 (1956) |

(注)母集団は情報学部 2013. 10 末時点である。

2. 2 公的自意識と私的自意識

(1) 自意識尺度

まず、第一章にある通り、公的・私的自意識の高さによって人々の様々な意識や行動は変化するものだと考えた。そのため、回答者の公的自意識と私的自意識の高さを測るため、菅原(1984)の自意識尺度の中から、公的・私的自意識それぞれ8項目を用いた。

【公的自意識】

- a. 自分が他人からどう思われているか気になる
- b. 世間体など気にならない (●)
- c. 人に会う時、どんなふうにするか気になる
- d. 自分の発言を他人がどう受け取ったか気になる
- e. 人に見られていると、つかっこうをつけてしまう
- f. 自分の容姿を気にするほうだ
- g. 自分についてのうわさに関心がある
- h. 人前で何かをする時、自分の仕草や姿が気になる

【私的自意識】

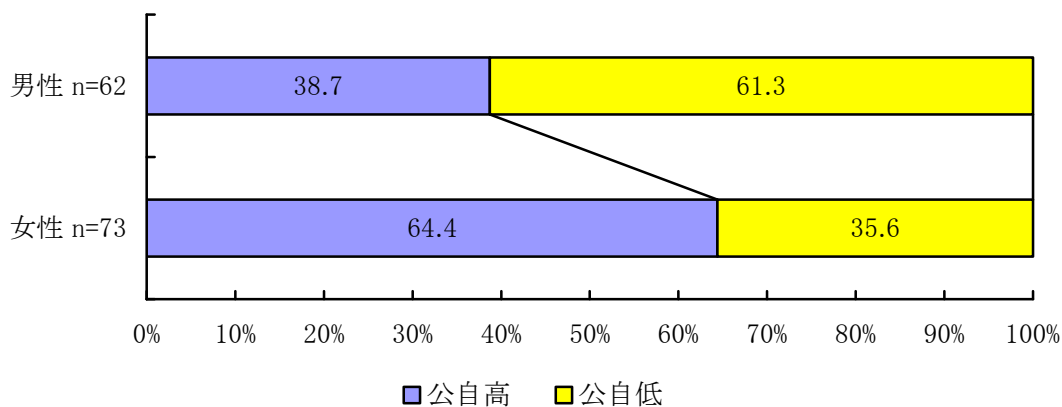
- a. 自分がどんな人間か自覚しようと努めている
- b. その時々のお持ちの動きを自分自身でつかんでいたい
- c. 自分自身の内面のことには、あまり関心がない (●)
- d. 自分が本当は何をしたいのか考えながら行動する
- e. ふと、一歩離れた所から自分をながめてみることもある
- f. 自分を反省してることが多い
- g. 他人を見るように自分をながめてみることもある
- h. 常に、自分自身を見つめる目を忘れないようにしている

(●印は逆転項目。)

以上の各項目に対して、「1. あてはまる」「2. ややあてはまる」「3. どちらでもない」「4. あまりあてはまらない」「5. 全くあてはまらない」の5件法で回答してもらった。回答の数値を得点とみなし(逆転項目は「5. 全くあてはまらない」～「1. あてはまる」)、各尺度について項目の合計点を算出。その合計点をそれぞれ2区分もしくは3区分し、公的自意識が高いグループ(公自高)と低いグループ(公自低)、及び、私的自意識が高いグループ(私自高)と低いグループ(私自低)に分け、自意識の高さを測った。そしてこれらを基に、その他の設問とクロス集計することで、公的・私的自意識それぞれの高さによる意識や行動の違いを調べた。

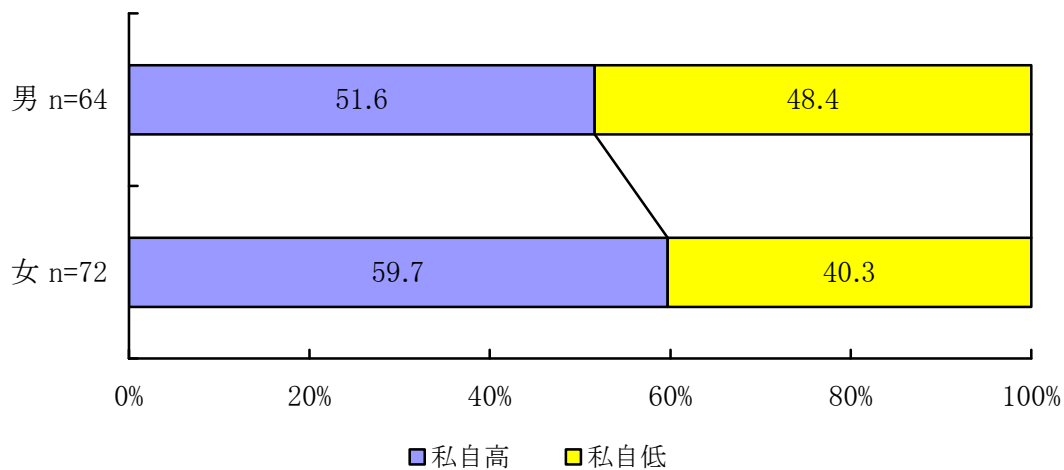
(2) 男女による自意識の差

図2-2-1 公的自意識の男女差(χ^2 乗:**)



公的自意識が高いという結果になった人は、男性は約39%いるのに対して、女性は約64%である。これより、男性よりも女性の方が周囲からの視線を気にする人が多いということが分かる。

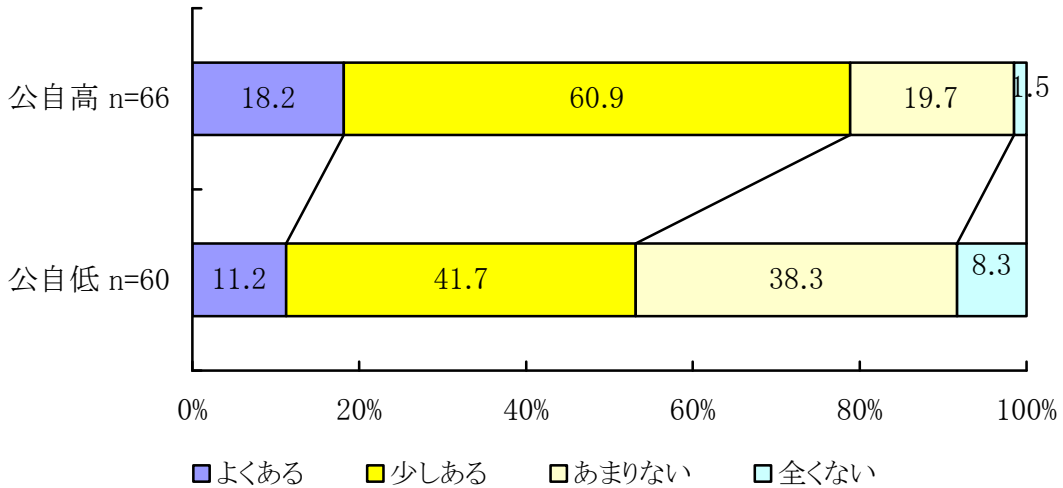
図2-2-2 私的自意識の男女差



私的自意識が高いという結果になった人は、男性は約52%いるのに対して、女性は約60%である。これより、男性よりも女性の方が自分の内面に、より強く目を向けているということが分かる。しかし、公的自意識よりも性差は小さく、有意差があるとは言えない。

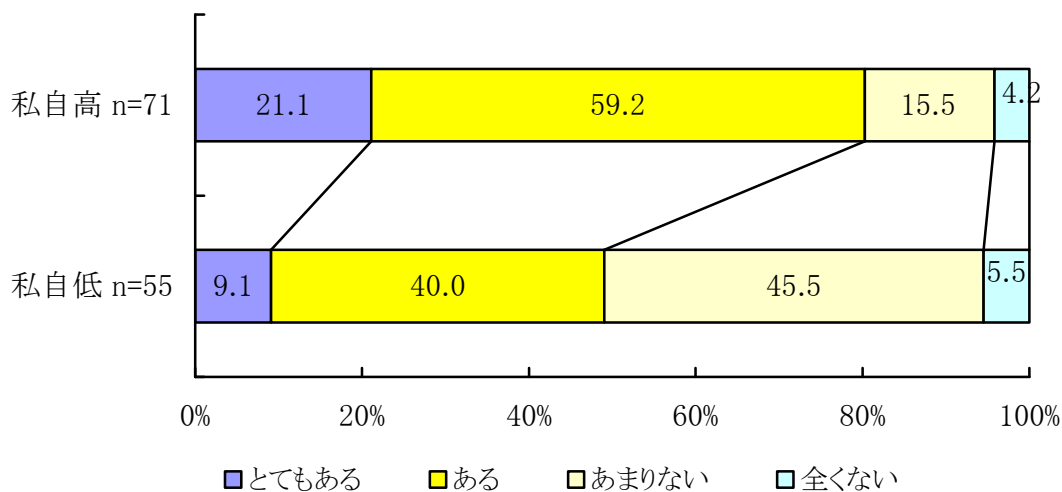
2. 3 メディアと自意識

図2-3-1 公的自意識とニュース視聴時の感じ方(χ²乗:*)



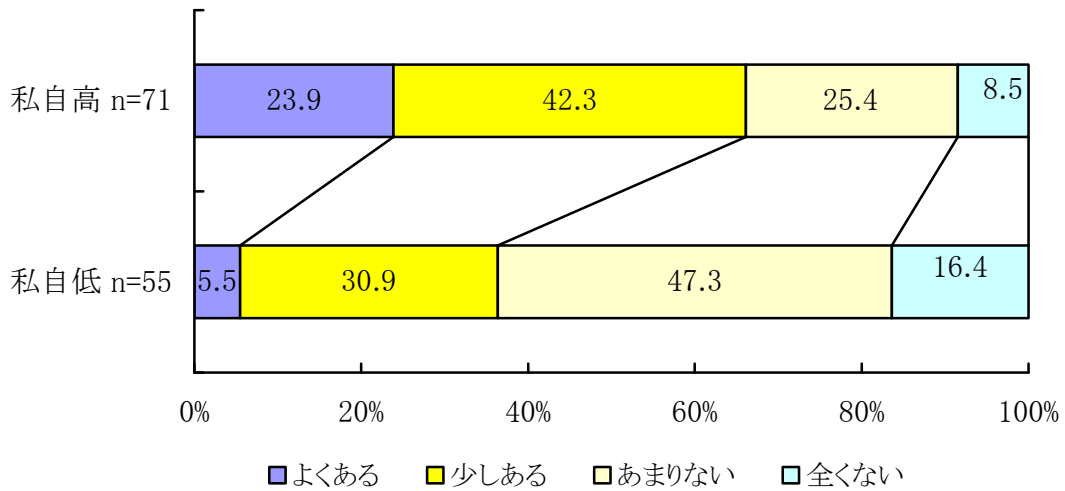
テレビでのニュース視聴の際に自分のことの様に考えることが「よくある」「時々ある」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは全体の8割なのに対し、低いグループでは全体の5割である。公的自意識が高い人の方が低い人よりもニュースを自分のことのように考えながら視聴する人が多い。

図2-3-2 私的自意識とニュース視聴時の感じ方(χ²乗:**)



テレビでのニュース視聴の際に自分のことの様に考えることが「よくある」「時々ある」と回答した人は、私的自意識が高いグループでは全体の8割なのに対し、低いグループでは全体の5割である。私的自意識が高い人の方が低い人よりもニュースを自分のことのように考えながら視聴する人が多い。

図2-3-3 私的自意識とドラマ視聴時の感じ方(χ²乗:**)

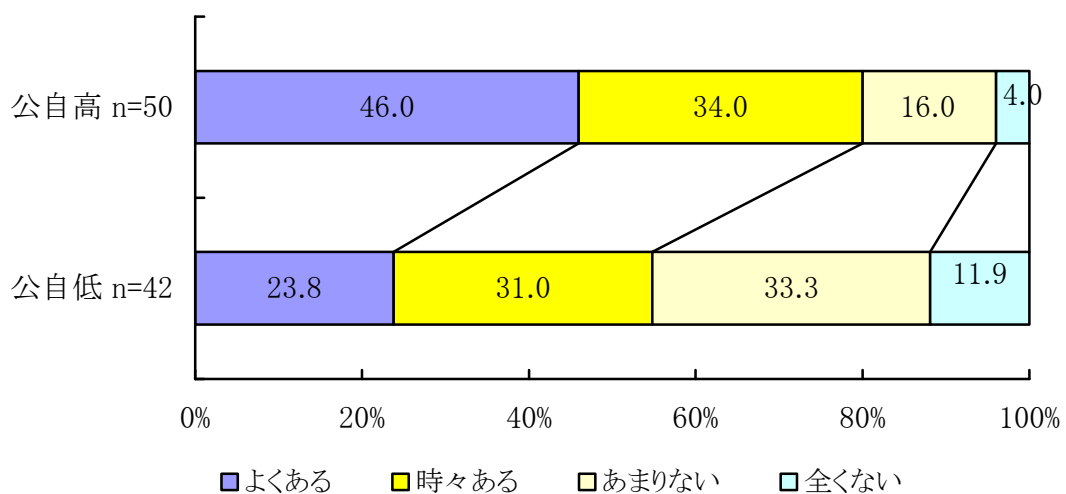


テレビでのドラマ視聴の際に自分のことの様に考えることが「よくある」「時々ある」と回答した人は、私的自意識が高いグループでは約66%なのに対し、低いグループでは約36%である。私的自意識が高い人の方が低い人よりもドラマを自分のことのように考えながら視聴する人が多い。また、ドラマ視聴時の感じ方については、公的自意識には有意差が見られず、私的自意識だけに差が見られた。

2. 4 生活と自意識

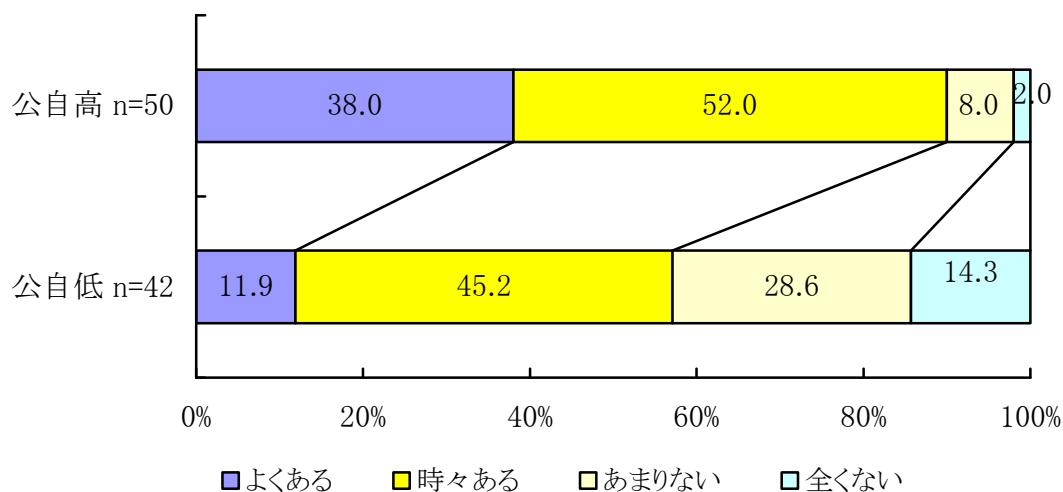
(1) 自意識による影響の差

図2-4-1 公的自意識と一般人の服装影響度(χ²乗:*)



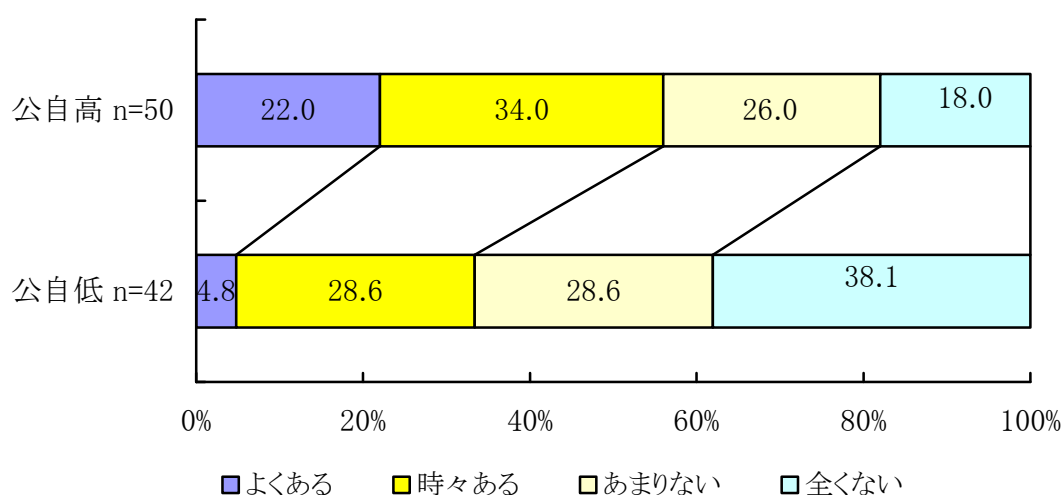
周囲の身近な人や一般の方から服装に関して影響を受けるかどうかという質問に対して、「よくある」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは約46%なのに対し、低いグループでは約24%であった。

図2-4-2 公的自意識と一般人の思考影響度 (χ^2 乗:***)



周囲の身近な人や一般の方から思考に関して影響を受けるかどうかという質問に対して、「よくある」「時々ある」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは全体の9割なのに対し、低いグループでは6割弱であった。

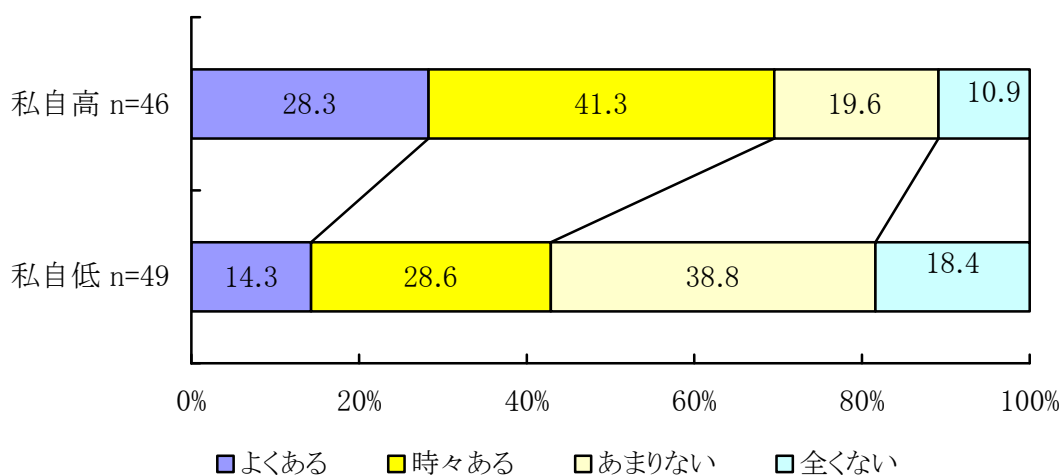
図2-4-3 公的自意識と一般人の持ち物影響度 (χ^2 乗:*)



周囲の身近な人や一般の方から持ち物に関して影響を受けるかどうかという質問に対して、「よくある」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは22%なのに対し、低いグ

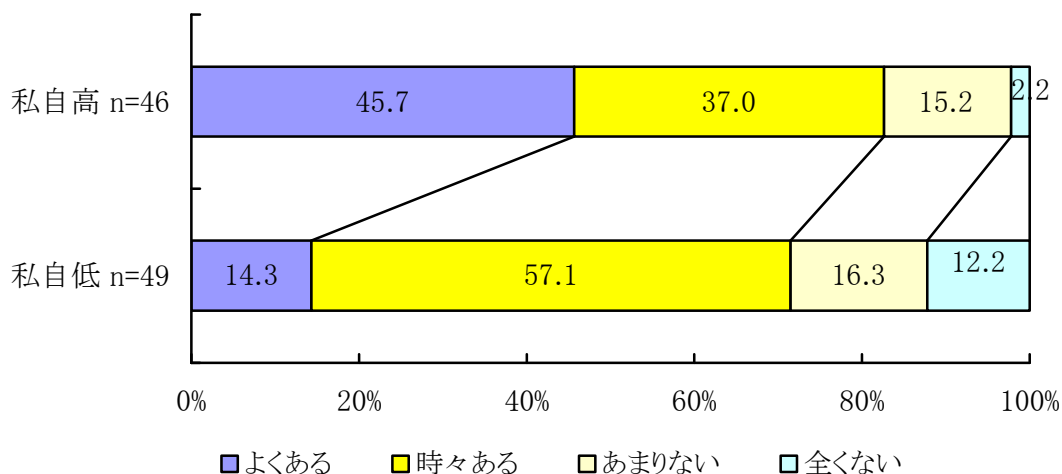
グループでは5%であった。また、「全くない」と回答した人は、高いグループでは18%なのに対して、低いグループでは約38%であった。

図2-4-4 私的自意識と芸能人の思考影響度



好きな芸能人から考えや意見に関して影響を受けるかどうかという質問に対して、「よくある」「時々ある」と回答した人は、私的自意識が高いグループでは全体の7割なのに対し、低いグループでは約4割であった。

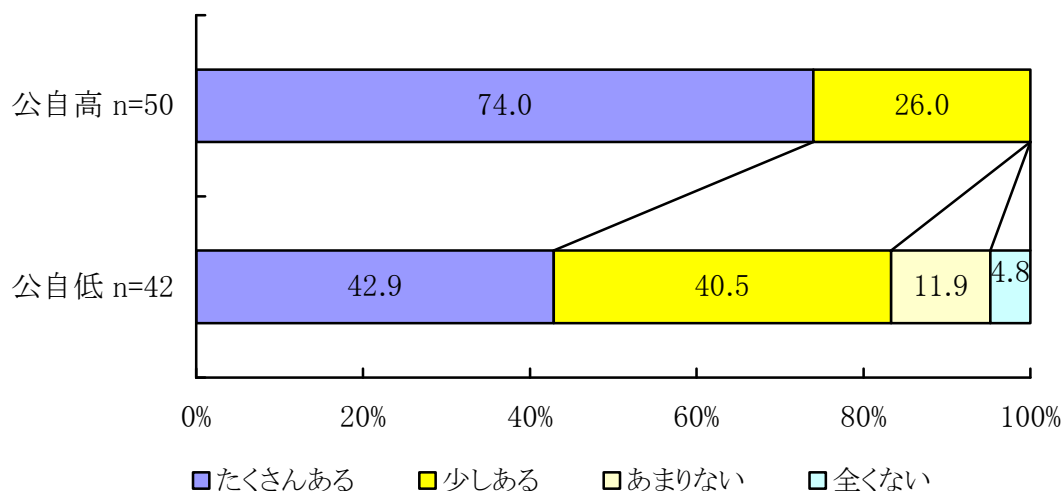
図2-4-5 私的自意識と一般人の思考影響度 (χ^2 乗:**)



周囲の身近な人や一般の方から考えや意見に関して影響を受けるかどうかという質問に対して、「よくある」と回答した人は、私的自意識が高いグループでは約46%なのに対し、低いグループでは約14%であった。

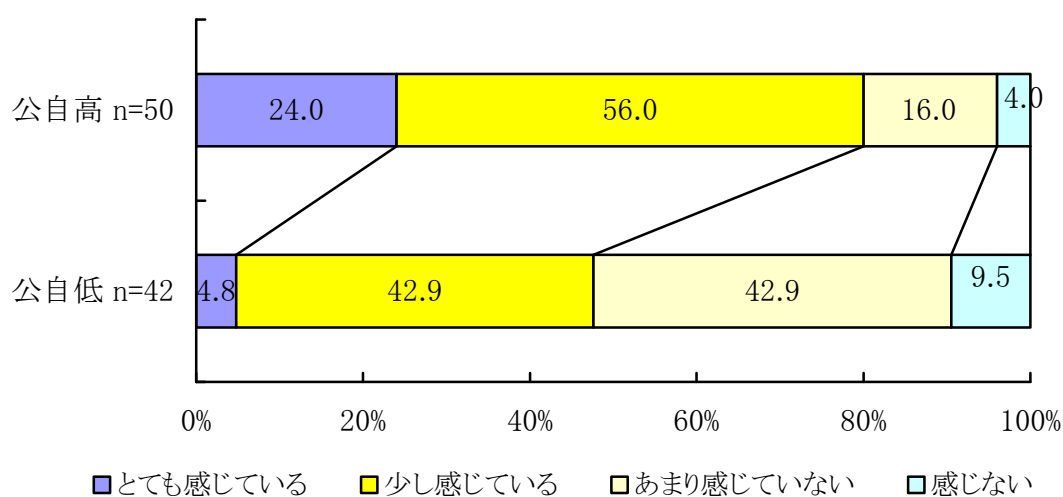
(2) その他自意識による差

図2-4-6 公的自意識とコンプレックスの有無(χ^2 乗:**)



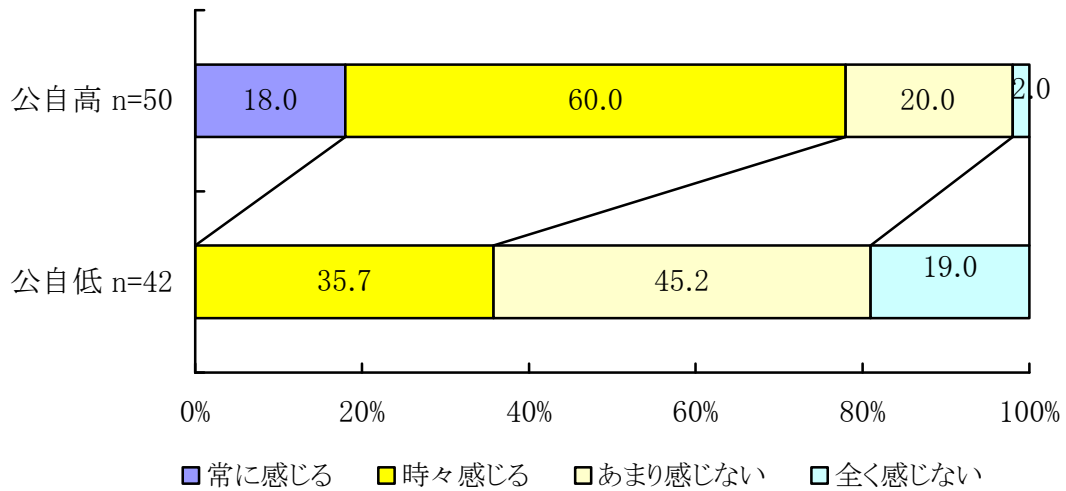
コンプレックスが「たくさんある」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは74%なのに対して、低いグループでは約43%と大きく差がある。また、公的自意識が高いグループでは、コンプレックスが「あまりない」「全くない」と回答した人はおらず、全ての人はいくつかのコンプレックスを持っていることが分かる。

図2-4-7 公的自意識とストレスの有無(χ^2 乗:**)



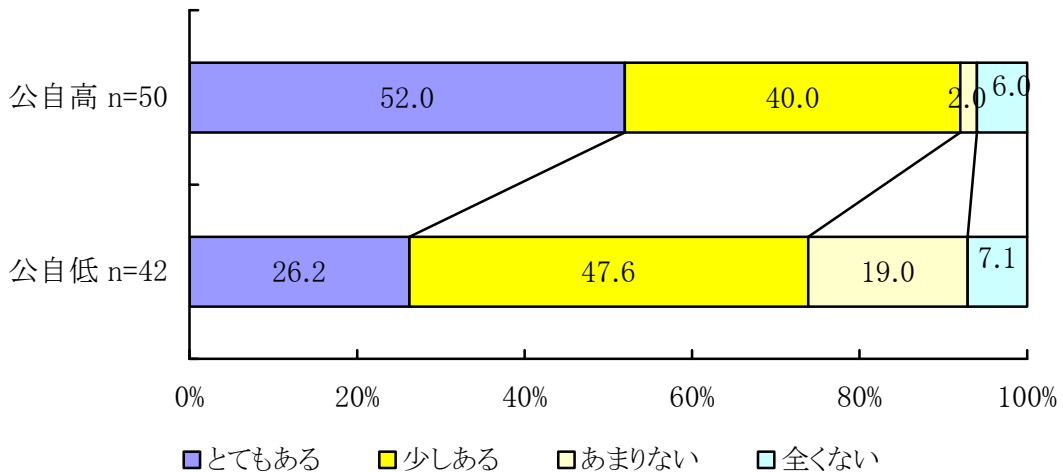
ストレスを「とても感じている」「少し感じている」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは8割なのに対して、低いグループでは5割弱と差がある。公的自意識が高い人は低い人よりもストレスを感じやすいことが分かった。

図2-4-8 公的自意識と孤独感の有無(χ^2 乗:***)



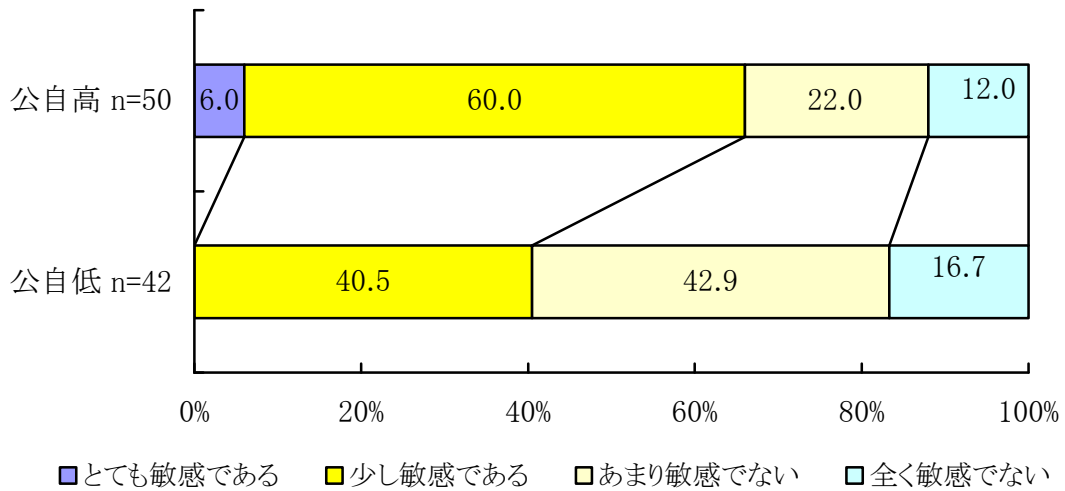
孤独だと「常に感じる」「時々感じる」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは78%なのに対して、低いグループでは約36%と大きく差が出た。公的自意識が低いグループでは孤独を「常に感じる」人はおらず、公的自意識が高い人の方が孤独を感じやすいことが分かった。

図2-4-9 公的自意識とお洒落への興味関心(χ^2 乗:*)



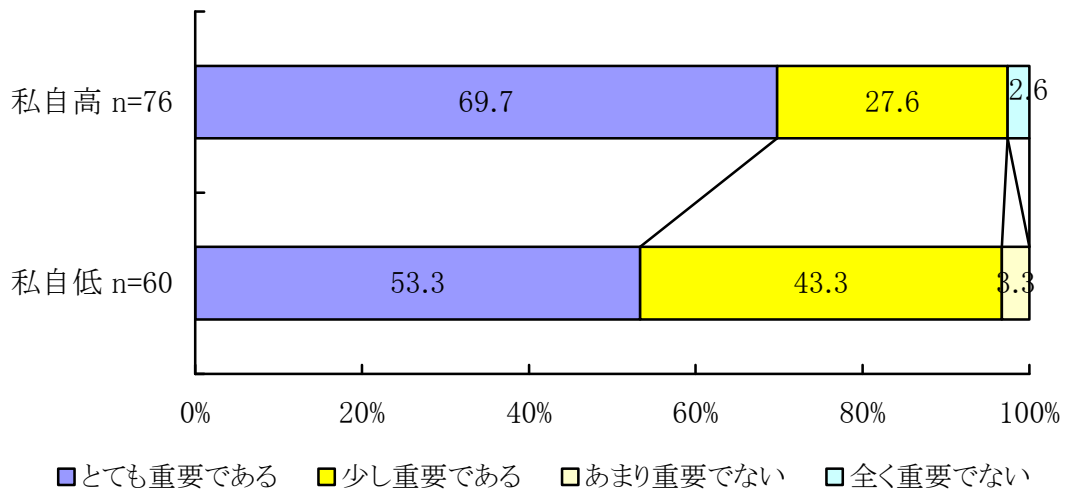
お洒落への興味関心が「とてもある」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは52%なのに対し、低いグループでは約26%である。また、「あまりない」と回答した人は高いグループでは2%なのに対し、低いグループでは19%である。よって、公的自意識が高いグループの方がお洒落への興味関心が高いことがわかる。

図2-4-10 公的自意識と流行



流行に敏感かどうかという質問に対して、「とても敏感である」「少し敏感である」と回答した人は、公的自意識が高いグループでは66%なのに対して、低いグループでは約41%となった。公的自意識が高い人の方が低い人よりも、流行を敏感に感じ取る人が多いといえる。

図2-4-11 私的自意識と時間の重要度(χ²乗:*)



一人の時間が「とても重要である」と回答した人は、私的自意識が高いグループでは全体の7割なのに対して、低いグループでは全体の約5割となった。これより、私的自意識が高い人の方が一人の時間を重要としていることが分かる。

第3章 まとめと今後の課題

3.1 研究のまとめ

全体を通して、自意識による意識や行動への影響は、公的自意識においても私的自意識においても高い人の方が低い人よりも強く出やすいということが分かった。

表 3-1-1 メディア視聴時の感じ方の比較

| | |
|----------------------|----------------------|
| ニュース視聴時に自分のことのように考える | 公的自意識 高 > 公的自意識 低 * |
| | 私的自意識 高 > 私的自意識 低 ** |
| ドラマ視聴時に自分のことのように考える | 公的自意識に差は無し |
| | 私的自意識 高 > 私的自意識 低 ** |

ニュースやドラマの感じ方について、私的自意識が高い人は自分と他者を割り切って考えるのではないかと予想していたため、自分のことのように考えることは少ないのではないかと考えていた。しかし実際は、私的自意識が高い人は低い人よりもニュースやドラマを自分のことのように考える傾向があることが分かった。私的自意識が高い人は自分の内面に目を向けることが多いため、こうしたメディアを見る際には他人のことと区別して考えるのではなく、自分ならどうあるかと考えるのではないかと想像される。また、ドラマはニュースよりも人々の感情が分かりやすく描かれていることが多く、より内面的な部分を考えることが多い。そのために、公的自意識ではなく私的自意識の方に差が出る結果となったのではないかと考える。

表 3-1-2 一般人からの影響度の比較

| | |
|------------------|-----------------------|
| 服装に関する一般人からの影響度 | 公的自意識 高 > 公的自意識 低 * |
| | 私的自意識に差は無し |
| 考え方に関する一般人からの影響度 | 公的自意識 高 > 公的自意識 低 *** |
| | 私的自意識 高 > 私的自意識 低 ** |
| 持ち物に関する一般人からの影響度 | 公的自意識 高 > 公的自意識 低 * |
| | 私的自意識に差は無し |

様々な影響度に関しては、調査段階では公的自意識が高い人は流行に敏感で、周囲に流れやすいことから、一般人よりも芸能人から影響を受けることが多いと考えていた。しかし実際は公的自意識が高い人は、どの項目においても芸能人よりも一般人から影響を受けやすいことが分かった。これより、公的自意識が高い人の方が周囲からの視線が気になるために、様々な影響を受けやすいのではないかと考える。またその際に、芸能人よりも一

一般人の方が接触する機会が多く、身近な存在であることから、自分に取り入れやすいのではないかと考える。

私的自意識が高い人に関しては、周囲からの視線よりも自分自身のことを考えることが多いため、芸能人や一般人関係なく影響を受けること自体があまりないと考えていた。しかし結果を見ると、私的自意識が高い人は芸能人や一般人関係なく、考えや意見に関して影響を受けやすいことが分かった。私的自意識が高い人は普段から自分の考えや思いに目を向けているため、考え方や意見については関心が高く、影響を受けやすいのではないかと考える。

その他の自意識の差では、私的自意識よりも公的自意識の高低による差の方が全体的に多く見られた。お洒落の興味関心やコンプレックスの有無については、予想した通りであった。やはり、普段から周囲の自分に対する視線に敏感である公的自意識の高い人の方が、外見の自分磨きを大切にしたり、周囲と自分の差を気にしたりすることが多いのだと考えられる。また、公的自意識が高い人の方が低い人よりもストレスを感じやすいという結果について、公的自意識が高い人は普段から周囲の視線に敏感であるために、周囲の言葉や行動が他者よりも心に残りやすく気にしてしまうことが多くなり、それらが結果としてストレスとなってしまうのではないかと考える。公的自意識が高い人の方が孤独を感じやすいという結果については、普段周囲に意識を向けていることが多いため、一人になると意識を向ける対象が居ないということを強く感じとってしまうのではないだろうか。そのために、一人だということを強く実感し自分は孤独であると感じる傾向があるのではないかと考える。

3. 2 反省と今後の課題

自分で立てた仮説に関する確証を得られる設問を上手く作ることができなかった。もっと様々な方向から考えて仮説と関係深い設問を作ることが出来たら、何故そうなるのかという充実した結果を得られたと思う。次回は上記の点を踏まえて調査に取り組みたい。

参考文献リスト

- ・「心理測定尺度集 I 人間の内面を探る〈自己・個人内過程〉」 p47～51
堀洋道 監修／山本眞理子 編 サイエンス社(2001)
- ・ goo research 第3回「メディア利用状況」に関する調査結果
<http://research.goo.ne.jp/database/data/001343/>
- ・ 岐阜心理カウンセリングルーム：<http://www.mental-gifu.jp/article/14187899.html>
- ・「自己意識が化粧行動と、素顔を見せることに対する抵抗感に与える影響
～公的自己意識、他者意識、セルフ・モニタリングの3尺度からみる自己意識～」
長谷川 綾子
<http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/~tsuchida/thesis06/hasegawa.pdf#search='%E8%87%AA%E5%B7%B1%E6%84%8F%E8%AD%98%E5%B0%BA%E5%BA%A6+%E8%8F%85%E5%8E%9F'>
- ・「ウェブログと自己開示意向及び自己意識特性との関連」 長野文紀
<http://tuna.psy.senshu-u.ac.jp/~fnagano/HP/nagano.pdf#search='%E8%87%AA%E5%B7%B1%E6%84%8F%E8%AD%98%E5%B0%BA%E5%BA%A6+%E8%8F%85%E5%8E%9F'>
- ・「化粧行動を規定する化粧意識・態度の研究」
http://www.hum.otsu.ac.jp/humrel/psychology/tanaka/tanaka_ken/sotsuron/5ki_sotsuron/06_furukawa.pdf#search='%E8%87%AA%E5%B7%B1%E6%84%8F%E8%AD%98%E5%B0%BA%E5%BA%A6+%E8%8F%85%E5%8E%9F'
- ・「仮想空間における自己呈示とパーソナリティの変容」
http://www.kyotogakuen.ac.jp/~o_human/pdf/association/p2009_01.pdf
- ・「若年男性におけるファッション・美容意識と公的・私的自意識の関係性」
<http://tatsuki-lab.doshisha.ac.jp/~statsuki/DoshishaThesis2/thesis/2012/19091057nishiyama.pdf>
- ・「大学生における化粧行動と主観的幸福感に関する日韓比較研究」(2011)
金 聡希(大阪大学大学院人間科学研究科)・大坊郁夫(大阪大学大学院人間科学研究科)
<http://syasin.hus.osaka-u.ac.jp/jjisp/011/pdf/2011kim.pdf>

メディア利用と意識行動に関する調査

2013.10

情報学部広報学科 高久沙織

「社会調査Ⅲ」の授業のための調査です。無記名ですので率直にお答えください。

問1 普段、最もよく利用するメディアは何ですか。(1つに○) n=138

1. テレビ 25.1 2. インターネット 40.6 3. 新聞 0.7 4. 雑誌 0.0 5. SNS 32.6 6. その他 0.0

問2 問1で回答したものは、もしも無くなってしまったら困りますか。(1つに○) n=138

1. 非常に困る 60.1 2. 少し困る 31.2 3. あまり困らない 8.0 4. 全く困らない 0.7

問3 1日にどれくらいインターネットを利用しますか。(1つに○) n=138

1. 30分未満 5.1 2. 30分～1時間未満 18.1 3. 1～2時間未満 27.5 4. 2～3時間未満 24.6
5. 3～4時間未満 7.2 6. 4～5時間未満 3.6 7. 5時間以上 13.8

問4 インターネットを利用する際、下記の利用頻度はどれくらいですか。(各1つに○) n=138

| | よく利用する | 時々利用する | あまり利用しない | 全く利用しない | 無回答 |
|----------------|--------|--------|----------|---------|-----|
| a. 調べもの、サイトの閲覧 | 80.4 | 18.8 | 0.7 | 0.0 | |
| b. ネットショッピング | 18.1 | 39.1 | 23.2 | 18.8 | 0.7 |
| c. 動画サイトの視聴 | 60.1 | 26.1 | 13.0 | 0.7 | |
| d. ゲーム | 13.0 | 21.0 | 29.0 | 37.0 | |
| e. 音楽のダウンロード | 14.5 | 23.9 | 29.7 | 31.9 | |

問5 普段どれくらいの頻度で新聞を読みますか。(1つに○) n=138

1. 毎日読む 5.1 2. 一週間に数回程度 9.4 3. 一か月に数回程度 19.6 4. 読まない 65.9

問6 月に何冊くらい雑誌を買いますか。(1つに○) n=138

1. 1冊 23.9 2. 2冊 13.8 3. 3冊 2.9 4. 4冊 3.6 5. 5冊以上 2.2 6. 買わない 53.6

問7 月に何冊くらい漫画を買いますか。(1つに○) n=138

1. 1～2冊 25.4 2. 3～4冊 10.1 3. 5～6冊 4.3 4. 7冊以上 2.2 5. 買わない 58.0

問8 1日にどれくらいテレビを視聴しますか。(1つに○) n=138

1. 30分未満 13.0 2. 30分～1時間未満 13.0 3. 1～2時間未満 22.5 4. 2～3時間未満 25.4
5. 3～4時間未満 9.4 6. 4時間以上 10.1 7. 見ない 6.5 →問12へ

問9 よく見るテレビ番組は何ですか?(あてはまるすべてに○) n=129

1. ニュース 49.6 2. バラエティ 71.3 3. ドラマ・映画 55.8 4. アニメ 27.1 5. スポーツ 23.3
6. 音楽 37.2 7. 趣味・情報 13.2 8. その他 1.6

問10 テレビでのニュース視聴の際に、自分のことのように考えることはありますか。(1つに○) n=129

1. よくある 15.5 2. 時々ある 51.2 3. あまりない 27.9 4. 全くない 4.7 無回答 0.8

問11 テレビでのドラマや映画視聴の際に、自分のことのように考えることはありますか。(1つに○)n=129

1. よくある 15.5 2. 時々ある 38.0 3. あまりない 34.1 4. 全くない 11.6 無回答 0.8

問12 SNSを利用していますか。(1つに○) n=138

1. はい 92.0 2. いいえ 8.0 →問16へ

問13 最もよく利用するSNSを教えてください。(1つに○) n=127

1. Twitter 92.9 2. Facebook 3.9 3. mixi 0.0 4. GREE 0.0 5. モバゲータウン 0.8 6. その他 2.4

問14 1日にどれくらいSNSを利用しますか。(1つに○) n=127

1. 15分未満 6.3 2. 15分～30分未満 13.4 3. 30分～1時間未満 34.6
4. 1～2時間未満 19.7 5. 2時間以上 26.0

問15 SNSを利用する際、1日に何回くらい書き込みをしますか。(1つに○) n=127

1. 1～5回 63.0 2. 6～10回 13.4 3. 11～20回 4.7 4. 21～30回 3.9
5. 31回以上 3.9 6. 書き込みはしない 11.0

問16 好きな芸能人は何人くらいいますか。(1つに○) n=138

1. 1～3人 31.2 2. 4～6人 20.3 3. 7～9人 12.3 4. 10～13人 8.7 5. 14人以上 20.3 6. いない 7.2

問17 外見に関して、あなた自身と芸能人では差があると感じますか。(1つに○) n=138

1. とても感じる 69.6 2. 少し感じる 23.2 3. あまり感じない 3.6 4. 全く感じない 2.9 無回答 0.7

問18 内面に関して、あなた自身と芸能人では差があると感じますか。(1つに○) n=138

1. とても感じる 29.0 2. 少し感じる 42.8 3. あまり感じない 23.2 4. 全く感じない 5.1

問19 自分に対してコンプレックスはありますか。(1つに○) n=138

1. たくさんある 60.1 2. 少しある 31.9 3. あまりない 5.1 4. 全くない 2.9

問20 以下のことについて、好きな芸能人からどの程度影響を受けたり、真似をしたりすることがありますか?(各1つに○) n=138

| | よくある | 時々ある | あまりない | 全くない |
|------------------|------|------|-------|------|
| a. 服装やファッション | 29.7 | 34.8 | 21.7 | 13.8 |
| b. 考えや意見 | 23.2 | 39.1 | 26.1 | 11.6 |
| c. 小物、文具、家具等の持ち物 | 18.1 | 28.3 | 32.6 | 21.0 |

問 21 以下のことについて、芸能人でない人（周囲の身近な人や、一般の方）からどの程度影響を受けたり、真似をしたりすることがありますか？(各1つに○) n=138

| | よくある | 時々ある | あまりない | 全くない | 無回答 |
|------------------|------|------|-------|------|-----|
| a. 服装やファッション | 31.9 | 37.0 | 23.2 | 8.0 | |
| b. 考えや意見 | 23.9 | 51.4 | 16.7 | 8.0 | |
| c. 小物、文具、家具等の持ち物 | 14.5 | 31.9 | 31.2 | 21.7 | 0.7 |

問 22 人と直接話すことは得意ですか。(1つに○) n=138

1. 得意 16.7 2. どちらかといえば得意 37.0 3. どちらかといえば苦手 39.9 4. 苦手 6.5

問 23 対人関係において、どの程度ストレスを感じていますか。(1つに○) n=138

1. とても感じている 13.0 2. 少し感じている 54.3 3. あまり感じていない 27.5 4. 感じない 5.1

問 24 普段、孤独だと感じることはありますか。(1つに○) n=138

1. 常に感じる 8.0 2. 時々感じる 51.4 3. あまり感じない 31.9 4. 全く感じない 8.7

問 25 1人、少数(2～4人)、多数(5人以上)でいるのでは、どれが一番好きですか。(1つに○) n=138

1. 1人 10.1 2. 少数(2～4人) 79.0 3. 多数(5人以上) 10.9

問 26 友人とどのように関わってみたいですか。(1つに○) n=138

1. なるべく多くの人と友達でいたい 28.3 2. 人数は少なくとも仲の良い友人がいればよい 71.0 無回答 0.7

問 27 一人でいる時間はあなたにとって重要ですか。(1つに○) n=138

1. とても重要である 63.0 2. 少し重要である 34.1 3. あまり重要ではない 1.4 4. 全く重要ではない 1.4

問 28 予定が無い日は外出することが多いですか、それとも家に居ることが多いですか。(1つに○) n=138

1. 外出することが多い 15.2 2. どちらかといえば外出することが多い 21.7
3. どちらかといえば家に居ることが多い 29.7 4. 家に居ることが多い 33.3

問 29 お洒落をすることに興味関心がありますか。(1つに○) n=138

1. とてもある 36.2 2. 少しある 49.3 3. あまりない 10.1 4. 全くない 4.3

問 30 世の中の流行に敏感ですか。(1つに○) n=138

1. とても敏感である 2.9 2. 少し敏感である 53.6 3. あまり敏感でない 32.6 4. 全く敏感でない 10.9

問 31 物事に関して積極的ですか。それとも消極的ですか。(1つに○) n=138

1. 積極的だ 6.5 2. どちらかと言えば積極的だ 30.7 3. どちらかと言えば消極的だ 38.4 4. 消極的だ 4.3

問 32 自分は周囲に流されやすい性格だと思いますか。(1つに○) n=138

1. とても流されやすい 16.7 2. 少し流されやすい 48.6 3. あまり流されない 27.5 4. 全く流されない 5.1 無回答 2.2

問 33 あなたは下記のことについて、どの程度あてはまりますか。(各1つに○) n=138

| | あてはまる | ややあてはまる | どちらでもない | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 |
|---------------------------|-------|---------|---------|------------|---------|-----|
| a. 自分が他人からどう思われているか気になる | 42.8 | 40.6 | 9.4 | 4.3 | 2.9 | |
| b. 世間体など気にならない | 8.7 | 21.7 | 20.3 | 36.2 | 12.3 | 0.7 |
| c. 人に会う時、どんなふうにするか気になる | 32.6 | 44.9 | 14.5 | 5.8 | 1.4 | 0.7 |
| d. 自分の発言を他人がどう受け取ったか気になる | 39.9 | 37.7 | 13.8 | 6.5 | 2.2 | |
| e. 人に見られていると、つかっこうをつけてしまう | 15.2 | 29.0 | 34.1 | 17.4 | 3.6 | 0.7 |
| f. 自分の容姿を気にするほうだ | 32.6 | 39.9 | 21.7 | 5.1 | 0.7 | |
| g. 自分についてのうわさに関心がある | 31.2 | 33.3 | 18.8 | 11.6 | 5.1 | |
| h. 人前で何かをする時、自分の仕草や姿が気になる | 32.6 | 38.4 | 19.6 | 8.0 | 1.4 | |

問 34 あなたは下記のことについて、どの程度あてはまりますか。(各1つに○) n=138

| | あてはまる | ややあてはまる | どちらでもない | あまりあてはまらない | あてはまらない | 無回答 |
|------------------------------|-------|---------|---------|------------|---------|-----|
| a. 自分がどんな人間か自覚しようと努めている | 33.3 | 44.2 | 16.7 | 2.9 | 2.9 | |
| b. その時々のお持ちの動きを自分自身でつかんでいたい | 31.2 | 36.2 | 20.3 | 10.1 | 2.2 | |
| c. 自分自身の内面のことには、あまり関心がない | 5.1 | 12.3 | 19.6 | 43.5 | 19.6 | |
| d. 自分が本当は何をしたいのか考えながら行動する | 27.5 | 40.6 | 20.3 | 10.1 | 6.7 | 0.7 |
| e. ふと、一歩離れた所から自分をながめてみることもある | 27.5 | 29.7 | 22.5 | 15.9 | 4.3 | |
| f. 自分を反省してることが多い | 43.5 | 32.6 | 17.4 | 4.3 | 1.4 | 0.7 |
| g. 他人を見るように自分をながめてみることもある | 21.0 | 34.1 | 23.2 | 15.2 | 6.5 | |
| h. 常に、自分自身を見つめる目を忘れないようにしている | 21.7 | 36.2 | 26.1 | 11.6 | 4.3 | |

F1. 性別(1つに○) n=138

1. 男 46.4 2. 女 53.6

F2. 学年 (1つに○) n=138

1. 1年 89.1 2. 2年 9.4 3. 3年 0.7 4. 4年 0.7

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。